

交通規制にご協力ください

皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

第38回 敦賀マラソン大会 10月20日(日) 9時スタート

規制場所

- ① 部分 6:00～ 6:45 駐車車両の移動および停車禁止制限
6:45～12:30 通行止め
- ② 部分 7:00～ 8:30 駐車車両の移動および停車禁止制限
8:30～11:00 通行止め
※最終走者が通過後、一部規制を解除します。
- ③ 部分 7:00～ 8:30 駐車車両の移動および停車禁止制限
8:30～11:00 通行止め
※最終走者が通過後、随時規制を解除します。

沿道でのあたたかいご声援をお願いします!

問合せ先 スポーツ振興課 ☎22-8155

あなたが写っていたらご連絡ください。写真を差し上げます。
(秘書広報課 ☎22-8112)



一丸となり戦い抜いた夏

8月8日、13日、17日 敦賀気比高校硬式野球部 甲子園出場

敦賀気比高校が2年連続9回目となる夏の甲子園に出場。阪神甲子園球場には、同校の生徒や卒業生、選手の家族など多くの市民らが駆けつけ、声援を送りました。1回戦は、笠島選手が相手打線を3安打に抑え5対1で勝利し、2回戦は、杉田選手がサイクルヒット達成という大会史上6人目の快挙を果たし19対3で勝利しました。3回戦は3対4で惜しくも突破はなりませんでした。最後まで諦めずに戦った選手たちに、スタンドからは温かい拍手が送られました。

大会結果

回戦	対戦相手	敦賀気比	対戦相手
1回戦 (8月8日)	富島	0 0 0 1 2 1 0 1 0 5	0 0 0 1 0 0 0 0 0 1
2回戦 (8月13日)	国学院久我山	3 3 2 0 2 0 4 0 5 19	2 0 0 0 0 0 0 0 1 3
3回戦 (8月17日)	仙台育英	0 0 3 0 0 0 0 0 0 3	0 0 0 0 2 2 0 0 × 4

イキイキ健活! 「私のプラス1」

生活に気軽に取り組める健康習慣を1つ加える「プラス1」運動。毎月、皆さんの「プラス1」を紹介しています。



深呼吸で心も体も元気に!

数年前より、手の関節や腰が痛むようになり、加齢によるお医者様の見立てでしたので、自分で何かできないかと3年前より漢方スクールに通い始めました。それがきっかけで、呼吸を意識することを心がけるようになりました。睡眠時や緊張の場面で深呼吸をすることでリラックスできます。常に呼吸と笑顔を心がけることで、感情の起伏が激しかった私が、ゆったりとした気持ちで過ごせるようになりました。



深呼吸で、手や腰の痛みも少し良くなったようで、心も体も元気になっています。

皆さんの「プラス1」を紹介しませんか? 詳しくは、健康推進課 (☎25-5311) までお気軽にお問合せください。

秋の交通安全県民運動実施 9/21(土)～30(月)

～運動の重点と取組み～

- ①子どもと高齢者の安全な通行の確保
- ②高齢運転者の交通事故防止
- ③夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ④全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ⑤飲酒運転の根絶
- ⑥交通安全3S (Save Silver, Save Child, Slow Down) + 2アクションの励行

問合せ先 生活安全課 ☎22-8115

「ざぶとん会」を開催します!

市民の皆さんのまちづくりに関するご意見を、洲上市長が直接伺います。地区の指定はしていますが、敦賀市民であればどなたでも参加できます。(予約不要)

開催日程 (10月分)			
開催日	地区	会場	時間
10月2日(水)	栗野地区	栗野公民館	18時30分～
10月5日(土)	全地区	図書館3F	10時00分～

〈問合せ先〉秘書広報課 ☎22-8172

▼メダルをかざす松居選手(右から2人目)と窪田選手(同3人目)



全国上位入賞 進学後も期待

8月23日 敦賀気比高校レスリング部全国大会出場結果報告

第35回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会の入賞報告が行われました。男子71kg級で、松居 俊伍 選手(敦賀気比高校3年)が福井県勢初の快挙となる優勝を果たし、同80kg級で、窪田 大羅 選手(同)が敗者復活戦から勝ち上がり、3位入賞しました。時岡 隆夫監督(写真右)は「福井国体の経験が今回の結果に繋がった」と話し、両選手は「進学後も競技を続けたい」と意気込みを話しました。

▼ナホトカ市での交流の様子



姉妹都市との友好を深める

7月25～30日 敦賀市訪口児童親善使節団

市内小学5・6年生10人の児童親善使節団が姉妹都市のロシア連邦・ナホトカ市を訪問しました。ナホトカ市と敦賀市は昭和57年に姉妹都市となり、使節団の相互派遣を行うなど、友好を深めています。ナホトカ市では、地元学生との交流やキャンプ、ホームステイなどが行われました。小学6年生の木村碧さんは「ナホトカ市の皆さんが盛大に歓迎してくれたことが印象的でした。とても楽しかったです」と話しました。

